

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画 体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	評価 担当	局名	都市整備局
	政策	コンパクトで魅力ある都市空間の形成		課(室)名	都市計画課
	施策	景観の保全・形成・創出		電話番号	087-839-2455
	基本事業	美しいまちづくりの推進		事業実施主体	市
	事務事業	美しいまちづくり推進事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	「美しいまちづくり基本計画」に掲げる目標や方針の実現のため、平成 24年 3月に策定した景観法に基づく「景観計画」を踏まえ、景観形成に大きな影響を及ぼす建築物等に対する規制・誘導に取り組むほか、屋外広告物の規制・誘導内容を見直し、良好な景観の保全・形成・創出や清楚で緑豊かなまちの環境美化など、地域に即した都市空間を創出する。				
29年度概要	美しいまちづくり・景観審議会（2回） まちづくりアドバイザー派遣費等 景観形成助成金 既存不適格広告物改修等補助金 その他				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト 2-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）	


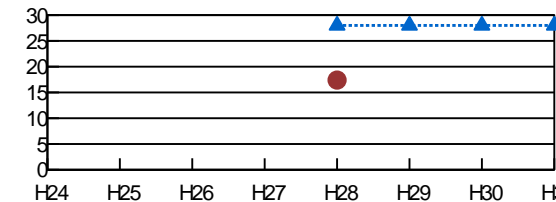

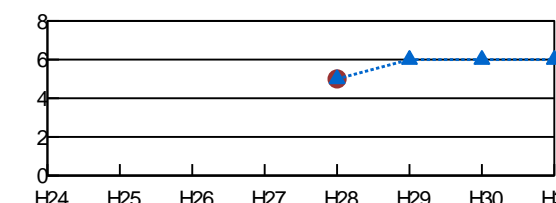
【事業の目的】

対象（何を）	高松市全域
意図（どのような状態にしたいか）	高松市全域において、地域に即した美しいまちづくりを推進し、誰もが暮らしたい訪れたいと感じる美しいまちを創出する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
美しいまちづくりアドバイザー制度活用回数	回			12	14	14

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
都市景観に関する満足度（市民満足度調査）	%	目標値			28	28	28
		実績値			17.4		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 美しいまちづくりアドバイザーからの指導・助言を参考に景観形成の規制・誘導を行ったが、市民満足度の目標値を大きく下回った。 		(目標達成度)					(達成度) 62.1% 21点
景観形成重点地区数	地区数	目標値			5	6	6
		実績値			5		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 景観計画に定める景観形成重点地区を追加指定することにより、よりきめ細やかな景観誘導を実施し、良好な景観形成を図るため、平成 27年度には屋島と讃岐国分寺跡周辺を追加指定するため、条例改正などを行い、平成 28年 4月 1日から施行している。 		(目標達成度)					(達成度) 100.0% 35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度（決算）	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（予算）
トータルコスト	[千円]	41,921	48,140	45,134	35,537
（事業費）	[千円]	27,528	32,786	29,432	19,835
（職員人件費）	[千円]	14,393	15,354	15,702	15,702

【評価】

評価ランク（A～D）	B	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	----------	--------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

既存不適格広告物改修等補助金の申請件数が平成 27年度 73件が平成 28年度 15件と減少した。平成 31年度から補助率・上限額が下がることから広告主・管理会社に早めの改修を求めていく必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

美しいまちづくりの実現に向けて、市と市民・事業者が適正な役割分担の下に、これら三者が一体となって、地域の魅力や特性を生かしたまちづくりを進めていく必要があることから、美しいまちづくりアドバイザーを活用しながら、良好な都市景観の形成を推進する。